

会 議 名	第3回港区基本計画策定に係る区民参画組織運営等支援業務委託 事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成31年2月8日（金）午前9時から10時30分まで
開 催 場 所	港区役所915会議室
委 員	<出席者> 企画経営部長（委員長）、産業・地域振興支援部地域振興課長（副委員長）、街づくり 支援部都市計画課長、保健福祉支援部保健福祉課長、総務部情報政策課長
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 A事業者（9時15分～45分） 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配 付 資 料	<p><席上配布></p> <p>資料1 第二次審査実施概要</p> <p>資料2 第二次審査採点基準表</p> <p>資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配布）</p> <p>参考資料1 第一次審査集計結果</p> <p>参考資料2 事業候補者選考方針</p> <p>参考資料3 仕様書（案）</p> <p>参考資料4 第2回選考委員会議録</p>

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	<p>1 開会 ～詳細省略～</p> <p>2 第二次審査実施概要について (事務局より「資料1 第二次審査実施概要」について説明) ～詳細省略～</p> <p>3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 (1) A事業者(30分間) (A事業者プレゼンテーション)</p> <p>(質疑応答)</p>
D委員	ICTを活用したグループ会議運営について、高齢者や障害者の方も利用できるようなフォローや工夫はありますか。
A事業者	ICTのアカウントを所有していないと利用できない仕組みにはしていません。ただし、参加者は最低限、電子メールは所有していると想定しており、電子メールを利用した範囲内での運営を行いたいと考えています。携帯電話やパソコンも一切所有していない方には、郵送等で対応します。
D委員	区民意識調査の実施について、これまで区で行った調査のローデータを分析・活用する予定はありますか。
A事業者	例えば、年齢や性別を比較する際にローデータが必要になるかもしれません。ただし、まずは調査設計する前に前回、基本計画を作成してからこれまでどのような調査が行われているかを一度確認し、調整する必要があります。
E委員	実施体制と運営支援について、業務経験の浅深あるスタッフの質をどのように確保しますか。また、議論におけるファシリテーターの具体的な進行支援の役割を教えてください。
A事業者	9名のスタッフを3名ずつのチームに分け、グループでの議論の際には業務経験の豊富な者がファシリテーターを担い、業務経験が浅い者をサポートする体制を整備します。ただし、本事業でのファシリテーターはあくまで黒子的な役割であり、司会進行はリーダー・サブリーダーが担うのが本質と考えています。司会進行の経験があまりないリーダー・サブリーダーには、ファシリテーターが事前に会議のシナリオ作成を行う等サポートする予定です。
C委員	区民が主体的に議論するとは、具体的にどういうことですか。
A事業者	区の実情や区政を十分理解していることを前提に、リーダー・サブリーダーを軸に区民中心で議論を進めることです。また、リーダー・サブリーダーが提言書をまとめていくことが、区民参画の理念的にも望ましいことです。
C委員	区民意識調査の実施に関して、アンケート回収率を上げる工夫はありますか。
A事業者	事業担当者を調査主体の一部とする記載を避け、あくまで区のアンケート調査とし

	<p>て発送・回収が行われているよう見せる工夫があります。また、無回答を減らす設問設計やレイアウトに配慮することもできます。さらに、ノベリティ的なものを区側で用意し、同封することで回答を促す提案もできます。</p>
B 委員	<p>担当の割り振りに関して、地域コミュニティと福祉に経験者の記載がないのはなぜですか。</p>
A 事業者	<p>人員数の関係もあり、全分野に専門的な人員を配置することはできませんでした。しかし、要望があれば再配置も可能であり、より専門性の高い分野に人員を回すなど、チーム内でサポート体制を整備していくことも可能です。</p>
A 委員	<p>前回の業務経験を踏まえ、今回はどのように事業を改善・発展させていくか具体的に教えてください。</p>
A 事業者	<p>前回の経験を踏まえ、1 グループ 8 名程度のメンバー構成が円滑に進むと思いました。また、議論においてファシリテーターが専門性を発揮しすぎず、なるべく知識を提供する立場で参加した方が良いです。重要なことは、企画課の担当者と事業者がきちんとアジェンダセッティングし、そのアジェンダで必要なことを事前に抽出する等の準備をすることです。さらに、国や都、区が各枠組みでできる範疇を区民にも理解してもらうため、区と連携して発信していきます。</p>
	<p>(各委員採点、事務局集計)</p>
	<p>4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について (集計結果を事務局より説明。A 事業者 993 点)</p>
A 委員	<p>各委員から審査にあたり評価したポイントなど全体の講評をお願いします。</p>
C 委員	<p>提案の実現性が少し薄いですが、これまでの業務経験から本事業の目的を理解しており、業務意欲も感じました。</p>
D 委員	<p>ICT の活用について高齢者や障害者に対する工夫を質問したが、現実的には対応が難しいものと感じました。</p> <p>グループ会議の改善点については具体的な課題を見出していたことから、事業の発展を期待できます。</p>
E 委員	<p>事業の実績を高く評価します。また、グループ会議の運営経験の差異を支援できる体制となっていることから、安定した業務実施が期待できます。</p>
B 委員	<p>これまでの業務経験から本事業の目的をよく理解しています。9 分野の各担当を決めることに苦労したという実情を聞くことができ、さらにグループ内のサポート体制に安定性があります。ただし、具体的な提案があまりなかったのが、実際の業務の中で確認したいと思います。</p>
A 委員	<p>これまでの業務経験から安定性を感じ、きちんと過去の業務経験を踏まえた改善策を示していた点、グループ内のサポート体制からチーム全体でレベルアップを図ろうとしている点に期待ができます。</p> <p>これまでの議論を踏まえて、点数変更を希望する委員はいますか。</p>
各委員	<p>(修正無し。)</p>
A 委員	<p>では、A 事業者を事業候補者として決定してよろしいですか。</p>

全員	異議なし。
A委員	事務局から事業者名を発表してください。
事務局	(事業者名の公表)
	5 その他
	(事務局連絡事項)
	6 閉会